横浜市自然体験施設　NPO都筑里山倶楽部

2026年１０月度炭焼き部会

炭焼きボランティア

体験プログラムレポート













＜１０月の活動概要＞

今月は1家族（親子、3名）が応募、3週にわたる一連の炭焼き活動を部会員とともに体験してくれました。

- 　８月の活動休止期間後、初のドラム缶窯を使用しての炭焼きでしたが、窯の性能は安定しており、休止前と同様の結果を得ました。
- 今回、1回の炭焼きで必要な薪の量を把握するために、試験的に投入重量を計測し、炭材の約半量が必要であることを確認。この数字を基に、薪の年間必要量を割り出し、安定的な供給に役立てていきます。

１０月度　体験レポート

【第１週】
- 10月３日（土）9：00～12：00
  - 窯詰め（MK-1使用、竹）
  - 前日伐採した竹の搬出
  - 竹細工（竹とんぼ）

【第２週】
- 10月10日（土）9：00～18：30
  - 火入れ（MK-1、竹炭）
  - 薪割り＆薪置き場の整理
  - 火起こし体験

【第３週】
- 10月17日（土）9：00～12：00
  - 窯出し、選別＆研磨



＜窯詰め～火入れの体験＞



宮谷戸窯の入り口



炭材を窯に詰める



炭材を窯に詰める



蓋をする



窯の前面を土で密閉



窯の前面を土で密閉



皆で昼食



自発炭化中

＜ ドラム缶窯 MK-1による炭焼き＞

- 炭材：長さ68ｃｍ（伐採日 2025年2月5日、竹割り日 同年3月15日）
- 乾燥日数　竹割後：577日（伐採から約19ヶ月）
- 入炭材量： 55.50 kg　　乾燥減量：32.4%
- 出炭量：15.13 kg（27.26%）
- 良炭量： 10.03 kg（18.07%）
- 採取竹酢液： 8.7 L



窯詰め



窯開け（出炭前）

（比較／対前回）　窯内の温度変化も前回とほぼ同様の動き。

2026年６月度／炭材（伐採日 2025年5月7日　３年以上の成長竹）

入炭材量： 60.2 kg、乾燥減量： 18.2%、木酢液採取量： 7.6 L

出炭量（率）： 14.96Kg（24.9%）、良炭量（率）： 7.36Kg（12.2%）

2026年10月10日(土） 宮谷戸　MK-1改修窯　木炭焼き結果

第268回（窯改修後26回目）　炭焼き、 気温　19.4℃、天気　晴れ

炭材：長さ68 cm 長寸　（伐採日 2025年2月5日　3年以上の成長竹　3月15日竹割り　乾燥日数（割竹）577日（32.4% 重量減）

入炭材量：55.50 Kg　　採取竹酢液：8.7 L　出炭量15.13 Kg（ 27.2%）　良品：10.03 Kg（ 18.1 %）

MK-1 窯下部
最高温度804℃

煙道ダンパー　全開（9:35）
通風孔＝焚口　全開
２次バーナー　点火（11:15）

焚口点火→消火
9:35-13:30
（3時間55分）



煙道ダンパー　全開（13：30）
通風孔　13㎜Φのスキ間分開く

自発炭化
13:30 -16:45
（3時間15分）



ダンパー全開
通風孔　60mmのスキ間分開く（16：45）
通風孔　一気に全開へ（17：12）

窯下部温度

精錬
16:45-18:00
（1時間15分）

窯中央部温度



煙道温度

窯上部温度

窯中間部温度

トータル窯閉めまで
（8時間25分）

温度
℃

1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

9:00　10:00　11:00　12:00　13:00　14:00　15:00　16:00　17:00　18:00　19:00

時間

MK1煙突口　MK1窯中間　MK1窯上部　MK1窯中央　MK1窯下部　MK1窯中間(奥側1)